

広報

うわじまちくしょうぼう

第93号

宇和島地区消防本部
宇和島地区防火協会
<http://www.119.uwajima.nanpu.or.jp/>



秋の火災予防運動

11月9日(木)～11月15日(水)

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

住宅
防火

いのちを守る 10のポイント

4つの習慣



6つの対策



令和5年上半期中の火災・救急概況



火災19件・出火原因1位たき火



令和5年上半期に発生した火災は19件で、前年上半期の29件から10件の減少となっています。火災による死者は0人で昨年の3人から減少、負傷者も5人と昨年から1人減少しています。また、火災種別で見ると建物火災が最も多い9件で5割近くを占めています。火災の原因は「たき火」が8件で最も多く、次いで「たばこ」が2件、「線香」、「石油ストーブ」各1件などとなっています。



救急2,335件・搬送2,103人



令和5年上半期中の出場件数は2,335件(前年比69件増)、搬送人員は2,103人(前年比27人増)となっています。事故種別ごとにみると、急病が1,583件で全体の70%近くを占め、次いで一般負傷379件、転院搬送211件などとなっています。また、搬送人員を傷病程度別にみると、軽症が768人で全体の35%以上を占めているのが現状です。救急車は限りある資源ですので、救急車の適正利用にご協力下さい。

救急車を呼ぶ？病院に行く？ 迷ったら#7119にすぐ電話

#7119は、「すぐに病院に行くべきか」「救急車を呼ぶべきか」など悩んだときに医師・看護師などが電話で症状を聞き取りアドバイスをしてくれるシステムです。愛媛県でも令和5年7月1日から運用を開始しています。

24時間365日対応
緊急・重症の場合は、迷わず119番



令和5年度採用者紹介

令和5年4月に採用され、4月から9月までの6ヶ月間、愛媛県消防学校に入校し寮生活を通じて、消防士に求められる規律や知識・技術を身につけるための初任教育課程を修了しました。10月から宇和島消防署に配属となった彼らに今後の意気込みを聞きましたのでご紹介します。



黒田 起朗 (23歳)

日々の鍛錬を欠かさず、先輩から色々なことを学び、いざという時に頼れる消防士になります。安全を第一に考え、市民を守っていきます。



青嶋 瞭太 (20歳)

消防人である前に人であり、人を愛し、人を想い、人に寄り添い、人の未来を明るくします。立派な消防士になれるように頑張ります。



小川 歩夢 (19歳)

日々鍛錬し、公務員としての自覚を持ち、一人前の消防士として現場の最前線で活躍できるように頑張ります。



稲田 大翔 (19歳)

消防士として自覚を持ち、生きて家に帰ることを忘れず、強く優しい消防士になります。



石崎 颯大 (19歳)

要救助者を1人でも多く助けられるよう、知識と技術をつけ、実際の現場でも活動できるように日々鍛錬します。

消防フェア開催 11月12日(日)12:30～

場所：宇和島商店街・中央町ふれあい広場 小雨決行

消防フェアは、消防と住民とのふれあいを通して防火防災意識を高めるために、3年に1回開催されています。消防車両展示コーナー・ロープ渡り・煙体験、防災用品・地震パネル展示、抽選会などを実施します。体験・展示コーナーに挑戦すると、空くじなしの抽選券がもらえます。

見て体験して景品が当たる！
イベントの最後にはお菓子まきもあるよ

火災による死者のおよそ半数は逃げ遅れ！

火災から大切な命と財産を守るために
住宅用火災警報器を設置しましょう



宇和島地区広域事務組合消防本部

公式 Instagram

はじめました

宇和島消防の魅力をお届けするため公式 Instagram を解説しました。いいね、フォローをお願いします。

